

年 組 名前:

問1

南アルプス市で、恒例の「十日市祭典」が開催されました。昨年からの変更点を3つ教えてください。

.....
.....
.....
.....
.....

問2

祭典は、さまざまな物が販売されることから、どのように言われていますか。

.....
.....

問3

500年以上続く伝統の行事を変更した理由を教えてください。

.....
.....

問4

来場者は、変更したことで、何が良くなったと話していますか。

.....
.....

新「十日市」大にぎわい 初の土日開催、フモットでも



多くの人でにぎわう十日市祭典の県道の会場



骨董市や雑貨などが販売された「fumotto 南アルプス」の会場
＝いずれも南アルプス市内

甲府盆地に春を呼ぶ「十日市祭典」(同実行委主催)が8日、南アルプス市で始まった。開催日を土日に変更してから初めての開催。今年から従来の県道の会場は距離が短縮された一方、同市十日市場、寺部の複合施設「fumotto(フモット)南アルプス」に第2会場が設けられ、両会場とも大勢の人でにぎわった。来場者からは「土日開催で来場者の分散につながる」「フモットでの開催で子どもが遊べる広い場所があるのはいい」との声が聞かれた。

〔井村賢紳〕

祭典は、さまざまな物が販売されることから「ないものは猫の卵と馬の角」といわれ、500年以上続く伝統行事。これまでは曜日にかかわらず毎年2月10、11両日に開催していたが、駐車場不足による周辺の渋滞などを理由に今年から土日開催に変更した。会場は、これまで使用していた県道1・1号のうち国道57号(甲西バイパス)の東側約300メートル「フモット」の2カ所とした。

8日は甲州十日市だるまなどの縁起物のほか、白ときね、飲食などの露店約300店が出店。フモットでは、カラオケ大会などのステージイベントや骨董市、輪投げや段ボール迷路といった縁日ブースもあった。

来場した同市藤田の農業深沢宏彰さん(44)は「10日が平日になると、建国記念の日で祝日になる1日に来場者が集中して大きな渋滞が発生していた。土日開催で来場者が分散すると思う」と話す。同所の河西幸子さん(80)は、フモットでの開催について「これまで一本道ですれ違えず、歩くのが大変だった。子どもたちが遊べる店や場所ができてよかった」と感想。一方で「2カ所の会場が離れてしまい、歩いて移動するの大変だった」とも話した。小野仁土実行委員長は「会場周辺の環境が変化して新たな形での開催となったが、大勢の来場者でにぎわっている。土日開催にして正解だった」と話した。

9日は午前9時半〜午後4時

(2025年2月9日付 山梨日日新聞 18面)